

令和 8 年度

さいたま市立高等看護学院運営委員会議事録

1. 開催日時 令和 8 年 7 月 29 日（水）午後 2 時 00 分～3 時 20 分
2. 開催場所 高等看護学院 情報処理室
3. 出席者 【委員】 8 人
齋藤 貴弘委員長、浅野 昌則委員長職務代理者、伴 茂之委員、
國澤 尚子委員、小櫃 俊介委員、石橋 圭子委員、原 朋子委員、
玉野 久美委員
【事務局】
内田事務長 松本教務主任 河野教務主任 丹治教務主任、
菊田主査、蟻川主査
欠席者 朝見 淳規委員
4. 議 題 報告事項
(1) 令和 7 年度学校評価について（概要説明）
(2) 令和 8 年度学院運営目標について
(3) 令和 8 年度学校の現状報告
1) 学生現状報告
2) 学校運営状況報告
3) その他
5. 公開・非公開の別 公開
6. 傍聴人 なし
7. 会議資料 (1) 令和 8 年度さいたま市立高等看護学院運営委員会次第
(2) さいたま市立高等看護学院運営委員会委員名簿
(3) さいたま市立高等看護学院運営委員会規程
(4) 令和 8 年度運営委員会資料
8. 問合せ先 保健衛生局 保健部 高等看護学院
電話 048-873-0281

1 開会	(司会進行・事務局 内田)
2 委員長挨拶	(齋藤委員長)
3 委員紹介	(事務局 内田)
4 議事	(事務局 内田) くさいたま市情報公開例第 23 条に基づく公開、傍聴者の確認。 事務局より、傍聴者ない旨報告
5 報告 事項(1)説明 質疑	(事務局 内田) く報告事項(1)について説明 (伴委員) 入試選抜方法について、試験日を1日にする、国語の小論文を廃止する等の変更されたことで、まだ早いかもしれませんが効果の検証はいかがでしょうか。 (河野教務主任) 学校説明会に来校した学生や高校教諭との懇親会の中で、どのような理由で学校を選んでいるか聞いています。計算が苦手なため数学があるところは避けたい等、受験を考える時受験科目を参考に学校を選択しているという声も聴かれています。 (國澤委員) 今の伴委員に続けてですが、入試選抜方法を変更したことで、入学させたい学生が入学できているのか心配です。小論文をなくす、また数学・英語の解答を選択式にする等、少し入学選抜を優しくしたのかなという印象を受けました。その結果、さいたま市立高等看護学院で入学してもらいたい学生が確保できていますか。 (河野教務主任) 入試選抜方法前から、年々学生は文章力、読解力など基本的な学力が少し下がってきています。入学生のある程度の学力は必要だと考えています。入試選考委員会で合格基準を検討・決定し学生の質を確保しております。

	(國澤委員) どういう学生に入学してもらいたいのか。そのためにどのような入学試験をなさっているのでしょうか。 (河野教務主任) 面接の中で自分の意見を持っている人、人に興味・関心を持っている人、協調性がある人、向上心がある人などを評価しています。 (國澤委員) わかりました。ありがとうございました。 (学院長) 先ほどの御質問の中で「入学してもらいたい学生の確保ができていいのか」については入学生の学力を保つため、入試選抜の科目や、内容、解答方法を検討していきました。国語は小論文を廃止、記述式で読解力や情報の抽出力、論理的な思考を問う問題にしました。 英語・数学の解答は選択式に変更をしましたが、高校1年生の知識を保てるような問題にして、本校に入学してもらいたい学生の学力を保てるようにしています。 (松本教務主任) 18歳年齢の減少や大学志向もあり志願者数が減少しておりますが、志願者数を増やすために入試選抜方法を変更しました。変更したおかげで昨年度と同等の受験者数は確保できましたが、数学・英語を選択式に変更したため、学生の実力がわからないまま一年生を迎えています。しかし、学力低下について大きな変化はないと感じています。入学生の学習の対策として4、5月には一般教養や文章力、語彙力、また人の話をきちんと聞き、理解できるといった学習を行い、看護学の学習に入れるよう学校として取り組んでいます。 (原委員) 学校運営評価の広報を見ると看護学校を知るきっかけはホームページという情報から、随時ホームページを更新することはすごくいい取り組みだと思います。今の学生は、SNSやInstagramをよく見えています。ホームページ以外にもInstagramを始める、またはもっと「この学校は楽しいですよ、こんなことをやっています」など勉強以外の魅力をアピールできる学生が作成した動画をホームページで
--	--

	配信するなど、今以外のアピール方法を考えていらっしゃいますか。 (河野教務主任) 今年度からInstagramを始めています。行事ごとに撮影をし、学生から了解が得られた写真を掲載しています。学生が主体的になって動画を作る、にしましては、ある程度の基準等も必要になり、ただ学生たちが楽しんでいる場면을撮影し掲載することは、ストップしています。 入学生から話を聞くと同じ高校の先輩から、また大学卒や社会人は他学年から学校の情報を得ているため、何か新しい方法で学校の魅力を発信していかなければいけないかなと思っています。 (原委員) ありがとうございます。学生が卒業後、就職先で動画等を作る機会もあり、その時役立つことができるのかなと思い質問させて頂きました。動画作成時に個人情報を始め SNS 掲載時の注意点も同時に学べるかなと思います。最終責任は学校や病院だと思いますが、是非取り組んでいただけたらなと思いましたので、よろしくお願いします。 (小櫃委員) 今の話に関連することですが、今の学生さんは、学校行事などの写真撮影には、写りたくない学生さんもいますので、撮影側が不自然な対応にならないよう学生への配慮も必要かと思います。 学生募集のためのInstagramは学校を知ってもらうための強い力になると思います。学校の様子がきらびやかに伝えられるため、Instagramをする価値は高いと思います。しかし、たった一発の悪い書き込みによって全てが台無しになってしまうこともあります。悪い書き込みの1が100のように捉えられてしまう。特に若い子たちの影響力は計り知れません。そのことを考えつつInstagramの活用には慎重になって頂きたい。 社会福祉の講義を担当している関係上、学生から相談を受けることがあります。教命を扱う責任感から厳しい指導になってしまうこともあるかもしれませんが、日本看護学校共済会から出版されている「看護師等養成施設のための対応ハンドブック」などを参考にして学生指導を行い、学生さんがさらに成長できる言葉掛け等をしていただけたらと思います。
--	---

事項（２）説明 質疑	（事務局 内田） ＜報告事項（２）について説明＞ （國澤委員） 昨年度の運営評価でさいたま市内の就職が 100%だという報告がありましたが、素晴らしい市内への貢献だと思います。就職後の定着率を教えてください。卒業後、就職先での理想と現実のギャップで早期退職・早期休職に至るケースがあります。そういう現状を踏まえキャリア支援の必要性を感じています。昨年度の運営評価には低学年から就職支援を取り入れていると書かれていますが、就職することがゴールではなくどんな看護師になっていきたいかキャリア支援を見据えて指導をしていらっしゃいますか。 （丹治教務主任） 隣接しているさいたま市立病院に多くの学生が就職を希望しています。「急性期病院で何をやりたいのか」と市立病院に就職することがゴールではなく、病棟でどんな看護をやれるようになっていきたいかという希望の確認をアドバイザーとしつつ、市立病院以外の病院も学生に指導を行っています。急性期病院、慢性期病院で実習をしています。そのため、実習を通し将来自分が看護を行いたい場をイメージでき、自分の力が発揮できる場所に就職をしています。また入学試験の時から市内の医療に貢献する人材の育成をうたっていること、実習先が市内病院であることから市内就職者数が高い割合なっています。 早期退職者予防対策として、10月に卒業1年目を対象に「里帰りの会」を開催しています。卒業生の現状報告、どんな悩みをもっているのかなど情報共有をしたり同じような境遇や悩みをもっているのかなど、自分1人だけではなくみんなも一緒なんだと確認し、これからも頑張れるように支援できる会にしています。 （学院長） 退職の件ですが、2年前に主に就職している病院を全部、事務長と回りました。私たちは社会のニーズに沿った看護師を養成するということもありますので、病院がどんな卒業生が欲しいのかという聞き取り調査を行いました。そこで病院とのパイプができたので、去年あたりから病院の看護部長が早期離職予防に向けて看護学校に出向いてくれています。今、卒業生が病棟で辛そうなので学校でも相談に乗
--------------------------	--

	ってきますか、といった形で双方協力しあいながら早期退職を防いでいるのかなと思っています。ただ早期退職してしまう卒業生は、師長・看護部長に相談できない、もしくは学校にも来ない形で誰にも相談できないまま退職をご自分で決めて先に進んでしまうという傾向は見えています。ただ、今年3校の病院の看護部長が来校されていますが、1年目の早期退職は各病院1人いるかいらないかというところですね。早期退職が少ない病院というのは、やはり夜勤の独り立ちが若干遅い傾向もありますが、各病院は卒業生の力に応じて夜勤の状況を決めています、というような返答をいただいています。それから各学生の希望の病院への就職というところですけども、20歳を過ぎ成人はしているため自分の意思を持った学生もいますが、かなり親御さんたちの影響も受けています。50代の母親をもつ学生は、「若い時は急性期」「慢性期はできない看護師」とレッテルを勝手に決めてしまう傾向が見られます。現在、急性期の病院は縮小傾向になってきているため1年次の保護者会から今の医療体制についてお伝えしています。 (石橋委員) 運営目標5の質の高い学生を確保ということで、入学生60名以上の確保ができることは学校運営にとって大事なことです。今回、学校運営が前年度より0.1下がっています。学校関係者評価委員の意見にも具体的な仕組みづくりが必要と書かれています。この運営目標5を達成させるための策をもう少し具体的に教えていただけるとありがたいです (河野教務主任) 学生の確保では、業者主催の進路説明会だけではなくて、市内の小中学生から高校生を対象に公開講座を2回実施予定です。その他公民館で行う、「いのち」についての授業を12月に予定しております。また、学生の確保というところに関しましては、高校に学院長をはじめ各教員が赴いて、大学との違いを実際に進路担当の先生に説明しています。また専門学校の魅力を学生に声をかけていただくように説明をしています。計画中ですが、病院に通ってこられる患者さんやご家族の方に、学校のオープンキャンパスや学生募集について等、看護学校を知ってもらうような活動を広げていきたいと考えています。 (小櫃委員) 少し前の話に戻りますが、里帰りの会を開催されていますね。今ど
--	--

	の学校もリカレント教育や同窓会の組織化がすごく重視されています。その辺の動向も教えていただきたいです、結局それが巡り巡って学生募集にもすごく影響してくると思います。私は高校でも講座を持っていますが、やはりその辺のところ、先ほど先生がおっしゃったように将来に向けてきちんと線が引けているか、というのを高校生は重視していたりするので、イメージでもよろしいので、2点ですね、お聞かせ願いたいと思います。 (河野教務主任) 里帰りの会は毎年開催しています。卒業前に卒業後の自分へのメッセージを書き、里帰りの会で自分のメッセージについて振り返るなど計画をしていきたいと考えています。もちろん卒業してそれきりの学生同士もいますので、その中で自分と違う病院に行った学生のつながりを保つことにつながっています。また、本校は年に1回同窓会を開いておりますが、第一期生からの参加もあり現在の学院の様子をお話する機会にもなっています。その中でご自分の子さんが受験の年代になり、また知り合いの子が看護師になりたいという方の情報をもらい、本校のパンフレットを持ち帰っていただく等、次の世代につなげる活動をしています。 (小櫃委員) 現場で活躍されている姿を見せるというのはすごく価値が高い気がするので、ぜひ同窓会の方もご参加いただいて、いろいろ広報活動にご尽力いただければと思います。よろしくお願いします。
事項（3）説明 質疑	(事務局 河野教務主任) 〈報告事項（3）について説明〉 (伴委員) また入試の面接についてなのですが、何名の先生で面接をおやりになっているのかと、質問項目は共通なのか、それと当然ですけど、スコアを定数化しているわけですよね。その辺を教えていただきたいのですが。 (河野教務主任) 面接官は3名です。質問の内容はそれぞれ3名の面接官が共通のものから選択しています。

	(石橋委員) 高校の先生との懇親会が7、8月に開催されていると話がありましたがどのようなことをしていらっしゃるのですか。 (河野教務主任) 高校の先生方は、卒業させた生徒のことを気にかけて、また心配もなさっています。卒業生の状況を分かる範囲でお伝えしています。それだけではなく、学院を卒業、就職後の状況というところも情報共有をするとともに、今の高校生の現状や、医療職に対する希望者等の情報をいただいております。 (石橋委員) ありがとうございます。 これは意見になるかもしれないのですが、近隣には川口市立看護専門学校や埼玉県立大学があります。他校との差別化を図るために、高校教諭が来校された時や夏休みの高校進路指導部の訪問時に、さいたま市立病院でのトリアージ訓練、さいたまマラソンボランティア参加等の地域貢献活動の様子をパンフレットにして学校の魅力を配布されたらいかがでしょうか。 また、さいたま市内就職も100%であり、市立病院に就職すれば公務員になれること、就職後も就職先の看護部長と教員が協力して1年以内の退職者も1人いるかいないかと少なく、フォローも手厚いところをすごくアピールしていく必要があると思います。 また、コロナ禍があってから、自分が危険に身をさらしてもその分の対価がなく、女子医大の補助金問題等色々なことが出てきて、学生が看護師を希望しなくなり、この2年ぐらい全国的に入学生が少なくなっています。埼玉県内の看護学校が9校も閉校することになり、絶対的に看護師の人員が不足し、同時に看護の質も落ちてきます。病院も教員も大変だと思います。 でも、さいたま市においては、2026年人口が増えています。今すぐ高校生が増えるということではないですが、すごく魅力のさいたま市です。よその看護学校と違うところをいかに発信するかで、きっと繁栄する学院になると期待しています。 (小櫃委員) 今特徴的な授業、自分の授業の宣伝になってしまいましたが、今度ロボットで障害者の方と東京都をつないで、寝たきりの障害者の方に特
--	--

	別授業をしていただくことを松本先生と今やり取りしているところ です。ご本人も広報等に使って良いと言っていますので、こういう特 徴的な授業をぜひ活用していただければと思います。あと、社会人入 試の件について伺いたいのですが、今後、女子大等と共学化や、 社会人を入れていこうといった話がすごく盛んに議論されていると 思うのですが、すごく意識高い社会人の学生が来ると、すごく周 りも影響され非常に引っ張られて、みんな勉強力が高まるという感じ ではあるのですが、そうでない方々、逆に悪い方に集団を扇動してし まうきらいもあります。総じて私は社会人をどんどん受け入れるべき と思っているので、その辺のご意向、何かイメージとかあればお聞か せ願いたい。 (学院長) 現在、15 校の高校に訪問してきました。商業の学校でも 8 割以上 が今大学に行く時代だと言われました。現在、推薦と一般しかやって いないのですけれども、他の学校や専門学校は総合入試をやって選抜 も終わっており、学校訪問に来る時期が遅いのでは、というご指摘も いただいております。そのような中、少し社会人を受け入れていく枠 を広げなくてはいけないのではないかと考えています。しかし、就職 先の定年退職の年齢もあり、何歳までその病院が受け入れてもらえる のかという調査をしているところです。いずれは社会人の枠も広げて いくということも視野に入れながら検討していきたいと思っております。 (石橋委員) 遠隔授業をされる小櫃先生のような授業をアピールしていったほ うがいいです。現在、厚生労働省は看護学校での遠隔授業を推進し始 めています。看護師養成所の統廃合が進む中、次の第 6 次カリキュラ ム改正に向けてサテライト化や遠隔授業、オンデマンドの導入が始ま っています。遠隔地での学校統合は、遠隔授業を行えば 2 校で 1 人分 に講師謝金で済み、また 2 校から授業料を徴収すれば講師料が浮きま す。すでにサテライト化については検討が始まっています。そのため学 校が、遠隔授業をしている、こんなことをやっているっていうのはす ごくアピールになります。遠隔授業を写真撮影して写真をパンフレッ トの中に入れるといいと思います。本当によその学校にないものを入 れていかないと、差別化できないのではと思います。私が今勤めてい るところでは、ICLS を学生のうちに授業の中で取らせます。ですが
--	---

	高校生は ICLS っていう言葉を理解できないのでそんなに魅力を感じないのですね。だから高校生が分かる職の魅力みたいな感じでやっていくといいかなと思うのと、これは別の話ですけど、社会福祉と介護福祉士の課程の学校では、保育士と介護福祉士を同時に 3 年間で取れます。そうなれば介護福祉士だけの単なる学校に行くより両方の科目が取れる方が良いのではないかって、必修ではなく選択制でうちの学校でもできるのではないかと。社会福祉とか小児保健といった科目を入れ、3 年間で 3 回に分けて受験できるなど、もう少し魅力を大々的に発信できるような何か構想を練ってもいいのではないかなと思いました。 (松本教務主任) 貴重なご意見ありがとうございます。遠隔授業の件ですが、小櫃先生と交渉を重ね、現在の遠隔授業を実施しています。石橋委員からのご意見を教員に周知し、いろいろな発想をもち学校運営やっていけたらいいのかなと思いました。 学校アピールとして取り組んできた 1 つとして高校教諭の懇親会を 7 年前から開始しています。当初はさいたま市立高等看護学院の存在すら知らない高校が多くみられ 1 校でも多く、学校の存在を知ってもらおうと高校訪問や電話をしてきました。今では懇親会も定着し、卒業生の動向や、在校生の医療系を希望している生徒の現状について情報共有ができるようになりました。 地道な活動ですが、直接高校教諭の声を聞ける高校訪問や電話は大事であると感じています。石橋委員の意見や、今まで学校で実践してきたことを踏まえ学校アピールについて検討していきたいと考えています。
6. 閉会	(事務局 内田) 以上